

1～3号機使用済燃料プール循環冷却設備 二次系共用設備設置工事の進捗

2016年 8月25日

東京電力ホールディングス株式会社

TEPCO

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

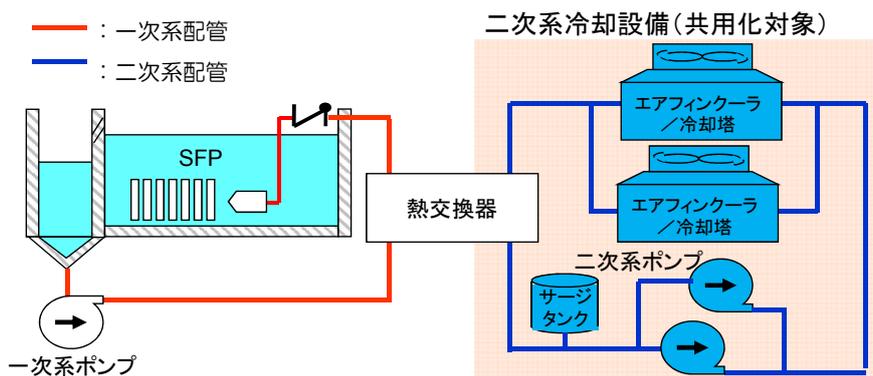
1. 工事概要

1

■ 1～3号機の使用済燃料プール（SFP）循環冷却設備について、号機毎に設置している二次系冷却設備*1から、1～3号機共用の二次系冷却設備へ変更を行う。

■ 本工事の目的

- ① 設備の共用化により設備数を低減し、設備の保守及び運用面で合理化を図ること
- ② 設備の設置場所について、既設エリアは雰囲気線量が高いため、低線量エリアに設置し、保全・運転管理の被ばく低減を図ること
- ③ 設備を2系統から3系統にすることで、機器点検時にも待機系統を確保可能とすること



* 1 : 二次系冷却設備
使用済燃料プール内の燃料から発生する崩壊熱を最終的な熱の逃がし場である大気へ放出し、使用済燃料プール水を冷却する設備であり、ポンプ、エアフィンクーラ又は冷却塔、サージタンクで構成。

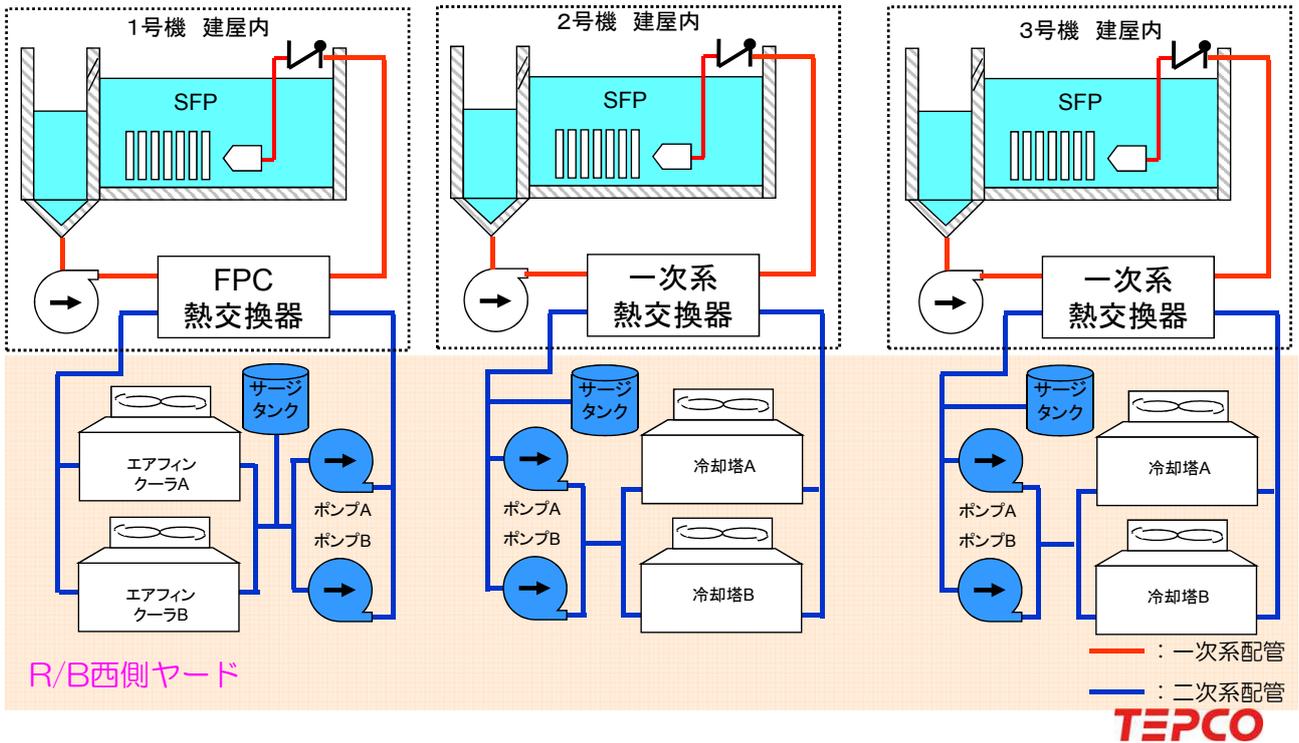
©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

TEPCO

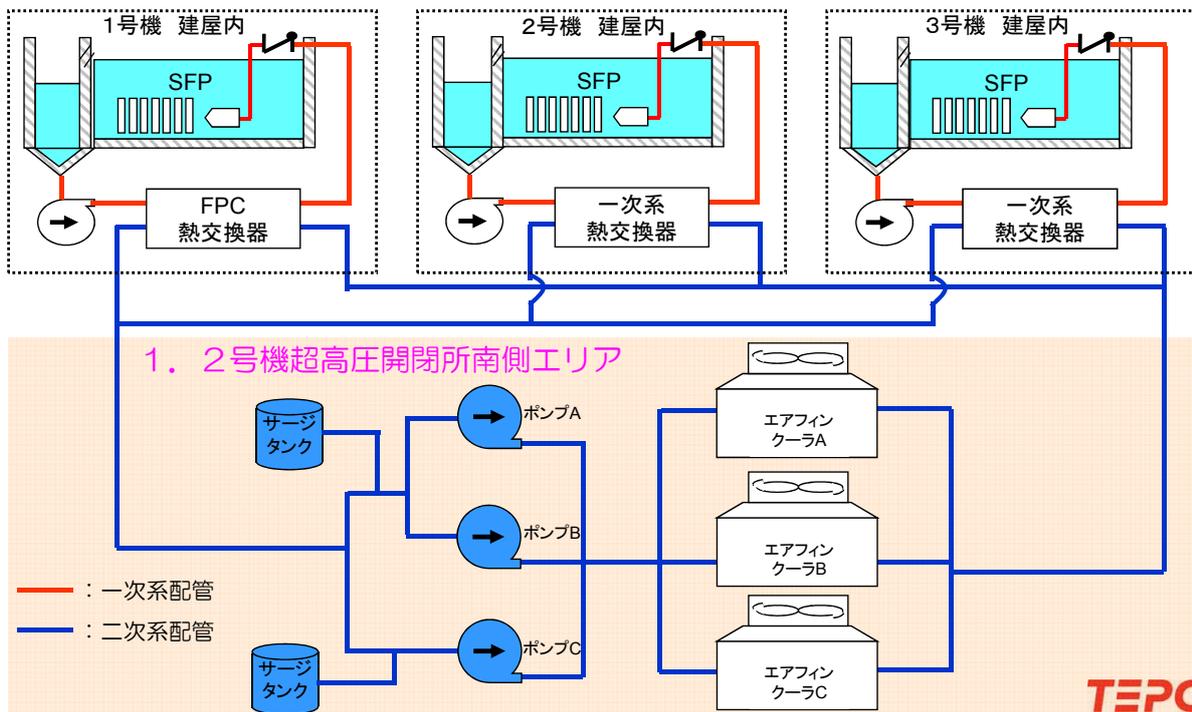
2. 二次系設備概略図(変更前)

- 1～3号機のSFP循環冷却系一次系設備に対して、各号機にて個別の二次系冷却設備（2系統）を設置している。



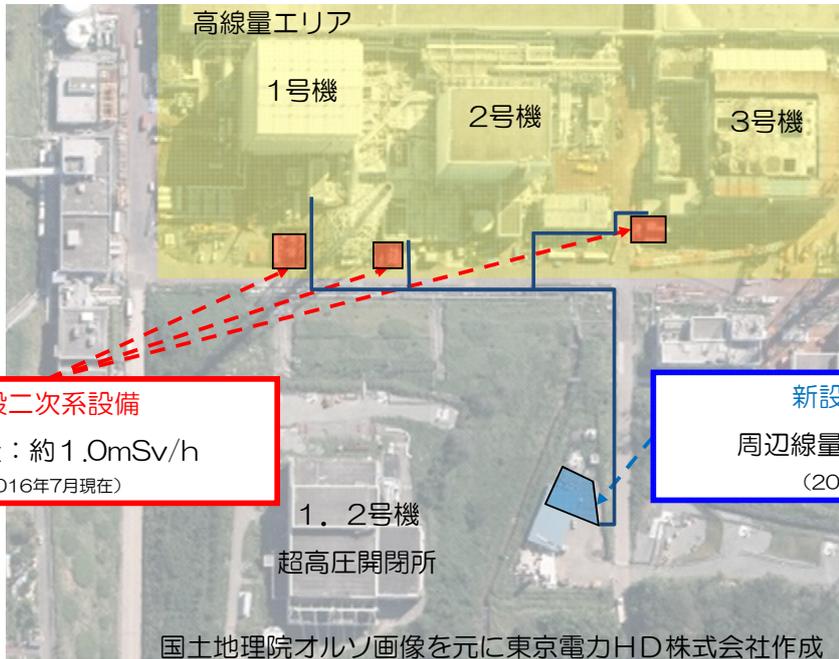
2. 二次系設備概略図(変更後)

- 1～3号機の各一次系熱交換器に二次系冷却水を送水する1～3号機共用の二次系冷却設備（3系統）を設置する。



3. 設備設置場所(概略)

- 二次系設備（二次系ポンプ，エアフィンクーラ，サージタンク）の設置場所を，1～3号機原子炉建屋西側から1．2号機超高压開閉所南側エリアへ変更する。低線量エリアが操作・点検場所となることから，保全・運転管理の被ばく線量が低減され作業性が向上する。（最大環境線量率を1/5程度に低減）



©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

TEPCO

4. 二次系設備設置状況

- 新設二次系設備の設置を完了している。
- 今後は，既設一次系熱交換器との配管接続を実施する。



二次系冷却設備（ポンプ，エアフィンクーラ）
（1．2号機超高压開閉所南側エリア）



二次系配管
（1～3号機原子炉建屋西側道路脇）

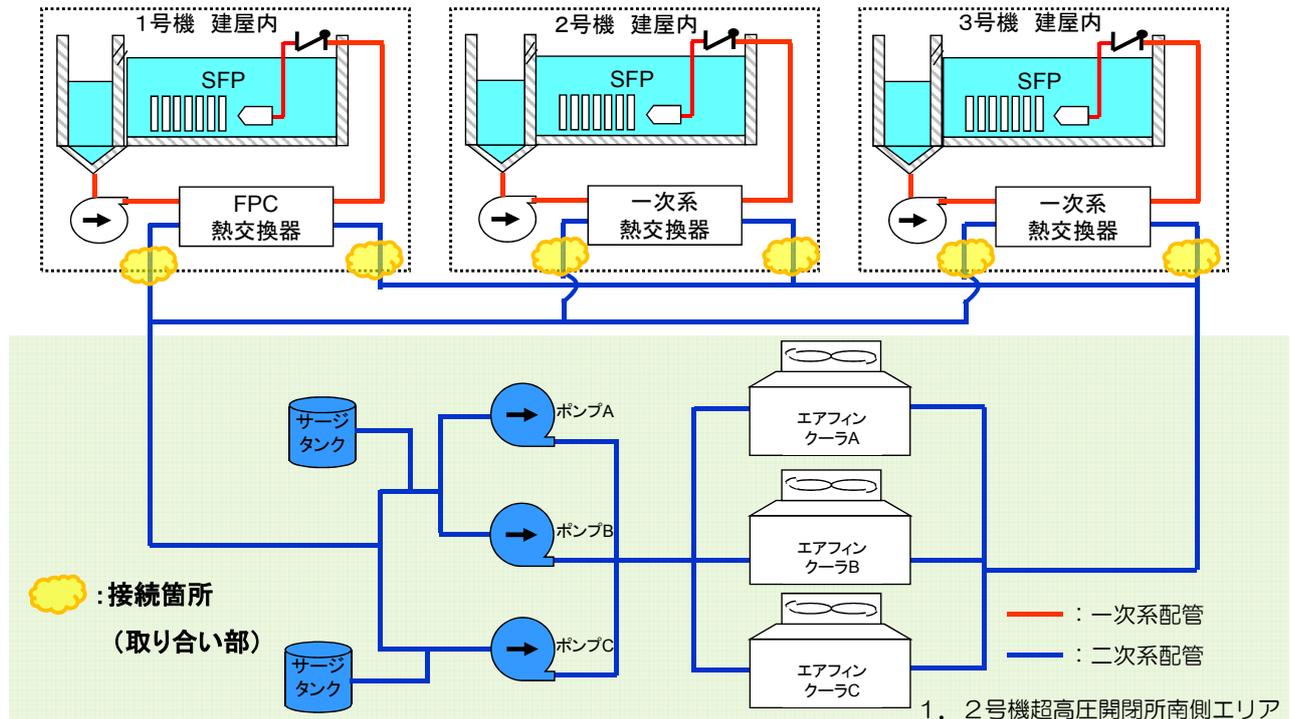
©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

TEPCO

5. 今後の予定(1/2)

- 号機毎に順次，共用の二次系冷却設備への接続作業を実施し，試験・検査が終了した号機から冷却を開始する。



5. 今後の予定(2/2)

- 試験・検査スケジュール

年月	平成28年					
	5月	6月	7月	8月	9月	10月
試運転	機器設置工事			1,3,2号機の順に接続を行い 順次系統試運転 ※		
			接続前系統試運転			検査後順次冷却開始
使用前検査		▽実施計画認可	▽耐圧検査		▽運転検査(1号機接続後)	▽運転検査(3号機接続後) ▽運転検査(2号機接続後)

※接続作業中にSFPの冷却停止が発生するが，実施計画に定める制限温度に達しないよう計画している。